



No.25 2009. 10

news

BIZ 島田節子

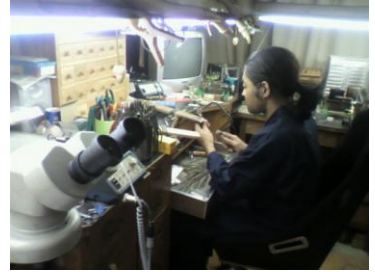
400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

～ 美を生み出す人達 ～

ジュエリーを創り仕上げる工程は多くの職人さん達の手を借りる。研磨、彫り、穴開け、細工職人 etc. 彼等の仕事場はおしなべて暗く、夏は熱暑、冬は極寒。エアコンは無くあっても扇風機かストーブ。それもない所がある。金粉が舞ってしまうから。床は抜け落ちそうな昔の木床。暗い仕事場で黄色の手元電球を便りに青粉とよばれる研磨剤の澱む冷たい水で、爪も手もそして髪や服も青くして背を屈めて仕事をしている。この研磨師さんは現代の名工、マイスターの称号を持つ。優秀な職人さんがいなくなってしまった、という話をきく中、彼らのような技術を使い残せる人は我々の貴重な財産でもある。この仕事場に若い男性がいるようになった、“あ、息子さんが入ったんですね。良かったですね”と心から思った。華やかでラクをしたがる人の多いこの時代に“まだ良い石は作れません”というこの若者にも感心した。



～ 沢山の工具に囲まれて仕事する細工師、それはそれは、良い仕事してくれる ～

～ 美しくあるということ ～

女性はいつ迄も美しくありたいと希っている。美しさの表現は年齢によっても違う。中年以降であればどうなるか。足りなくなった物を補う。例えば衰えた筋肉を再構築する為の運動。化粧の必要性（若い時は何も足さなくても良かった）そして前向きな弾力性のある考え方、とここまできて一番手っとり早いのがジュエリー、と私には思えた。若い頃、家の中の風習として何の考えもなく身につけていた。今は違う。どんなジュエリーが私をみずみずしく魅えさせてくれるか。イヤリングはいつもつけている（カオに最も近い）。そして胸元、動く手、それらは一瞬にして全体像に輝きを与えてくれる。そう、年を経る程にジュエリーは必需品、と今の私は思っている。

～ 秋の美味 ～



初秋の味、といえば秋刀魚や松茸が一般的なところか。私はそれらより茗荷をこよなく愛して食すのです。八百屋のおじさんが“新生姜と茗荷ばかり食べてんじゃないの”という位。そう毎日ボリボリ。とうとう、おやじさん“明日沢山安く仕入れといたげるから今日はよしな”と。

～茗荷の甘酢漬け～

おまもり

～ 護符 そして 癒し ～

古来ジュエリーの始まりは護符だったという記事を、以前B I Z NEWSに書いたことがある。パワーストーンという言葉があるが、私がこんなに元気でいられるのは綺麗な石達に囲まれているからだ、と云う人がいた。その方によるとB I Zの石達は皆ニコニコ楽しそうに、こ踊りしているそうである。お客様にも、持っているだけで安心する、元気が出る等々のお言葉を聞く。エネルギーと楽しさを感じさせるそんな石達を用いて、身につけてもただそこにあるだけで元気を貰い、心とむそんな物を創りたいといつからか心の中にあった。今年そして来年は、これをテーマに作品創りをしてみようと思う。09年と10年、それらがどう変化していくか楽しみにしている



ペンダント
アメジスト
ルビー 0.16ct
ダイヤ 0.014ct
K18YG



ペンダント
ローズクォーツ
サファイア 0.08ct
ピンクサファイア 1.26ct
K18YG

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・秋のランチパーティー | 10/20 (火) 12時～14時 |
| ・平家物語を琵琶で聴く & Party | 11/20 (金) 18時～ |
| ・B I Z秋の作品展～護りそして癒し～ | 11/3 (火) ～11/9 (月) |
| ・国際宝飾展 | 2010/1/27～1/30 |
| ・高島屋玉川店 | 2010/3月予定 |